

作成 令和5年7月5日
摂津市議会議員 松本暁彦

令和5年第2回定例会一般質問

～本会議3日目・令和5年6月27日～ 議事録(抜粋)

4 児童虐待防止施策を一過性で終わらせないことについて

質疑概要

市の児童虐待防止策は着実に強化されている。それらの取組み状況について確認するとともに、これらの取組みが一過性で終わることのないような施策が必要として、質疑を行った。

○松本議員

4 児童虐待防止施策を一過性で終わらせないことについて、おりとちゃん虐待死事件の初公判が先日あり、神戸の6歳児遺棄事件等、悲惨な児童虐待の防止はしっかりと進めなければなりません。まずは市の現況についてお聞かせ下さい。

(略※)

○福住議長

次世代育成部長

○次世代育成部長

「児童虐待対応」の現状についてのご質問にお答えいたします。

令和3年度の死亡事案発生以後、体制強化及び職員のスキル向上に取組むとともに、関係機関との連携強化等に取り組んでおります。

体制につきましては、事案発生前は5名のケースワーカーで虐待対応に従事してまいりましたが、人事異動や新規採用により職員を増員し、現在9名のケースワーカーを配置いたしております。

また、就学前施設との連携強化の一環として、令和4年度から幼保ソーシャルワーカーを新たに配置し、定期的な巡回訪問などを行いながら、怪我やあざ等の心配情報を聴取したり、就学前施設からの相談にも対応しております。

さらには、弁護士や臨床心理士のスーパーバイザーを招聘し、ケース対応の方針等に係る助言・指導をいただいているほか、要保護児童対策地域協議会の関係機関を中心に児童虐待における専門的な研修会を計画的に実施し、関係職員等の意識向上などにも取り組んでいるところでございます。

これらの取組みもあり、令和4年度の通告件数は898件となり、前年度の595件から大幅に増加

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

したところでは。

(略※)

○松本議員

次に児童虐待について、現状は理解しました。通告数が大幅に増えており、大変心配になりますが、市はどう分析されているのか、見解をお聞かせ下さい。

○福住議長

次世代育成部長

○次世代育成部長

通告件数についてお答えいたします。

通告の内容につきましては、軽度の事案から緊急的な対応が必要な重症事案等様々でございます。その中でも、軽度の事案の通告が大幅に増加している状況でございます。

ただ、軽微の怪我でも、家庭内における不適切な養育環境によってできた怪我であれば、そのような養育環境が継続することで大きな事故に繋がる可能性もございます。

また、怪我やあざがなくても親からの厳しい叱責が続くと、子どもの情緒面や行動面への影響が心配されるところでございます。

通告件数の増加は、関係機関等の意識の高まりとともに、小さな心配事でも速やかに通告や情報提供を頂けることで、早期に保護者への注意喚起や指導等が可能となり、結果的に、重大事案へと至ることを防いでいるものと前向きに捉えているところでございます。

○福住議長

松本議員。

○松本議員

関係機関等との連携などで軽度事案の通告が増えたこと、虐待を見逃さない体制がしっかりと整ってきた結果と理解しました。評価致します。

さて私は昨年の12月議会で、外的アプローチ強化と合わせて内的要因の改善にも力を入れるべきと提言しました。その対応として予算審議もあつた MYTREE ペアレンツプログラムの進捗についてどのようなものかお聞かせ下さい。

○福住議長

次世代育成部長

○次世代育成部長

内的要因の改善の一環として取り組む MYTREE ペアレンツプログラムの進捗状況についてお答

えいたします。現在、家庭児童相談課の臨床心理士3名がファシリテーター養成研修に参加しており、本年9月頃から、プログラムを実施できるよう、準備を進めております。

今後、プログラムの参加者募集にあたり、小中学校や就学前施設へのチラシの配布や広報せつつによる周知のほか、家庭児童相談課が継続的に関わっている保護者へも参加の呼びかけを行う予定でございます。

また、MYTREE ペアレンツプログラムとともに、内的要因の改善を目的に、経験豊富な臨床心理士が個別の面談を行う「寄り添いカウンセリング」につきましても、4月から月1回程度実施しており、保護者の状態に応じたきめ細やかな相談支援を進めているところでございます。

○福住議長

松本議員。

○松本議員

プログラムの実施に向けて周知方法も含め準備されているということで、内的要因の改善、保護者心理の改善は有効な対応と期待しております。

さて、MYTREE も含め、警察との協定、関係機関との連携強化など多くの取り組みを進められていますが、今だけでなく、一過性で終わらせることの無いよう文書などで継続性を担保する事が必要と考えます。

例えば条例制定等が考えられますが、市の見解をお聞かせ下さい。

○福住議長

次世代育成部長

○次世代育成部長

条例制定の考え方等についてのご質問にお答えいたします。

児童虐待防止の取り組みにつきましては、要保護児童対策地域協議会の関係機関のみならず、地域にお住まいの住民の皆様の見守りも重要と考えております。そこで、毎年11月の児童虐待防止キャンペーンの際には、街頭啓発や講演会、広報せつつ等を通じて、全市的な意識の向上に努めているところでございます。

日頃から、子どもたちと接する機会が多い学校や就学前施設以外にも、地域の方から公園で遊んでいる子どもの様子がおかしいと、市にご連絡をいただくケースもございまして、近隣から泣き声がするなどの通報もいただくこともございます。

このように、ご家族の様子をよく知る地域の皆様からいただく通告等は、虐待の早期発見、未然防止に欠かす事のできない情報源となります。

将来にわたり継続して、行政や関係機関、団体、市民がオール摂津で一体となって児童虐待防止に取り組むことは、非常に重要であると認識しており、そのためにも、児童虐待防止に関して、自治立法である条例を制定することについては、先進事例の状況を鑑みながら前向きに検討してまいりたい

と考えております。

○福住議長

松本議員。

○松本議員

先ほどの答弁でありましたオール摂津での一体となつての取組みも重要と認識します。他市町村でも関係機関や保護者の役割など条例制定を行っている事例があります。意義あるものであり、是非とも検討されるよう要望致します。

合わせて著しい通告数増加に対応できる体制強化も図られるよう要望します。

(音声データ等より作成)

重要と思われる部分には強調を入れています。

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<一般質問・項目一覧>

- 1 鳥飼地域のまちづくりについて
- 2 新型コロナワクチン接種状況等と接種券一律送付の必要性の有無について
- 3 市が災害対策本部訓練等を実施しないことの妥当性について
- 4 児童虐待防止施策を一過性で終わらせないことについて**
- 5 R6年度以降の公共施設整備の財源確保について
- 6 増加一方の救急出動と消防力強化の取組みについて
- 7 幼保小中連携での生きる力を育むことについて
- 8 明和池公園と新幹線公園の価値向上とシティプロモーション推進について

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]